

報道関係各位

**国立がん研究センターと全国の自治体が協働で乳がん検診受診勧奨施策実施
テレビ全国放送番組 NHK「ガッテン！」も連動し検診受診を呼びかけ**

2018年8月31日

国立研究開発法人国立がん研究センター

今回、「希望の虹プロジェクト」において、44 都道府県約 360 市区町村と協働し、各自治体の乳がん検診助成対象住民約 86 万人へ検診受診の個別通知(圧着はがき)を9月初旬に送付します。また、テレビ全国放送番組NHK「ガッテン！」(放送:9月5日、再放送:9月8日)での乳がん検診特集に国立がん研究センター保健社会学研究部 室長 溝田友里が出演し、乳がんに関する基礎知識、検診の利点・限界を示すとともに同個別通知はがきについても紹介し、乳がん検診受診の呼びかけを行います。

今回の試みは、テレビ番組による多数の視聴者への映像を用いた強力な訴求と、自治体による個別受診勧奨による「自分事化」と「きっかけ」、「動作指示」を提供することで、これまでの未受診者を含む多くの方の受診につながることを期待できます。

国立研究開発法人国立がん研究センター(理事長:中釜齊、所在地:東京都中央区)社会と健康研究センター保健社会学研究部は、公衆衛生分野(がん予防・検診・サバイバーシップ)に関する科学的エビデンスの構築および普及のための研究を行っています。

がん検診については、健康増進法に基づき自治体で実施する住民向けの検診施策を直接支援する「希望の虹プロジェクト」を2008年から実施し、科学的根拠のある施策の情報提供や同部で開発したソーシャルマーケティングを活用した受診勧奨資材の無料提供等を行い、受診率50%を目標として取り組んでいます。

乳がん検診は、40歳以上の女性に対し2年に一度の検診が、効果のある検診方法として推奨されており、多くの自治体では女性住民に対し2年に一度、検診費用の助成と個別受診勧奨を行っています。今回、これらの対象者の全ての方に自治体からはがきが送付されるわけではありませんが、はがきがなければ検診や検診費用の助成が受けられないというものではありません。自治体によるがん検診を希望される方(40歳以上の女性で、昨年乳がん検診を受けていない方)は、はがきの有無に関わらずお住いの市区町村にて詳細(自己負担額や受診可能医療機関などが自治体により異なります)を確認し受診してください。

個別の受診勧奨・再勧奨は、米国疾病管理センターによりがん検診の受診率向上に効果的な手法であることが検証され、多くの自治体で実施されています。一方、マスメディア単独での受診率向上効果については証拠不十分としているものの、複数方法の組み合わせについては十分な証拠があるとして推奨されています。

今後、番組放送後の乳がん検診申込数や受診者数の比較などで評価を行い、テレビ番組と個別通知との組み合わせによる受診勧奨の有効性について検討を行うとともに、結果を国内外に公表することを予定しています。また、今回の試みを先行事例として自治体などに広く周知し、今後、様々なマスメディアと個別通知との組み合わせを提案していく予定です。

【市区町村が行うがん検診について】

厚生労働省 平成30年度がん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーンサイト

http://www.gankenshin50.mhlw.go.jp/campaign_30/index.html

市町村のがん検診

http://www.gankenshin50.mhlw.go.jp/campaign_30/screening/index.html

市町村別 がん検診に関するお問い合わせ先

https://www.gankenshin50.mhlw.go.jp/campaign_30/screening/contact.php

【乳がん検診について】

国立がん研究センター「がん情報サービス」

乳がん検診の勧め

https://ganjoho.jp/public/pre_scr/screening/breast_cancer.html

乳がん検診Q&A

https://ganjoho.jp/public/pre_scr/screening/breast_cancer_qa.html

【自治体から住民へ送付される乳がん検診受診勧奨はがき】

圧着はがきを広げると以下の内容が記載されています。

<表面>

40歳を過ぎたら
乳がん検診

テレビ番組のお知らせ
国立がん研究センター保健社会学研究部が制作に協力！

NHKガッテン！
86万人の自宅に届く！乳がん対策の切り札をあなたへ
9月5日(木) 19:30～放送予定

マンモグラフィは
こんな検査です。

乳がん検診のマンモグラフィっていったいなにをするのか、不安に思っていますか。
実際にどんな検査なのかを知っておけば、検診に行く時も安心！

マンモグラフィは、
いわゆるおっぱいの
レントゲン

プラスチックの板と撮影台に
乳房を挟んで上からレントゲンを
撮ります。

5秒くらい、じっとして一
撮影終了！

1cm以下のがんも見つけられる
優れた画像検査法

マンモグラフィは、乳がん検診方法として効果があることが確認されている検査法で、早期乳がんの検出に有用です。

検診で「異常あり」となった場合は、
その後必ず
精密検査を受けてください。*

精密検査はマンモグラフィの追加撮影、
超音波検査、細胞診、組織診などで、
これらを組み合わせて行います。

※1 検診では、がんでないのに「異常検出」と判定される場合や、がんがあるのに見つからない場合もあります。
※2 検診は自治体と、各医療機関が連携して行っています。検診検査の結果は医療機関で共有され、市区町村へも報告されます。がん検診に受診し、乳癌検出率を高める必要検診で精密検査を受けたい場合は事前に医師と医療機関へ相談し、検査結果共有が共有されます。（国産検診の検診結果共有の仕組み）

©国立がん研究センター保健社会学研究部が制作しました。

<裏面>

**今年度は、〇〇市より
0,000円の助成*があります！**

今年度の助成対象の方

乳がん検診(マンモグラフィ)は助成がない場合、一万円を超える高価な検査ですが、市の検診を受けると約0,000円の助成が得られます。(自己負担金0,000円)

検査費用	約〇〇〇〇円
一助成金	約〇〇〇〇円
自己負担金	0円

* 助成が実施されるものではありません。

今年度の受診期間は、平成00年00月00日まで

料率、受診期間が近付くと大変混み合います。お早めにご予約・ご受診ください。

〇〇市 福祉保健部 健康推進課
〒000-0000 〇〇市〇〇〇〇健康会館内
電話 000-000-0000 FAX 000-000-0000

近年、日本人女性の11人に1人が乳がんにかかると言われていました。
乳がんは女性が一生のうちで1番かかりやすいがんです。

誰がなってもおかしくないですよ



セルフチェックだと遅いかも...



乳がんは40~50代女性のがん死亡原因ナンバーワン^{※1}
日本では、年間約1万4千人以上の女性が乳がんで亡くなっています。

自己検診では見つからないケースがたくさんある
早期発見のためにはマンモグラフィによる検査を定期的に行うことが大切です。

※1 出典：国立がん研究センター がん情報サービス「がん登録・統計」
地域がん登録全国統計によるがん罹患データ（1975～2013年）
※2 出典：国立がん研究センター がん情報サービス「がん登録・統計」
人口動態統計（2016年）

乳がんは早期発見で95%以上が治癒します^{※2}
正しい知識を持って、専門の先生と一緒に定期的にチェックしていくことが大切です。

5年相対生存率

早期発見した場合(1期)

100.0%

早期発見できなかった場合(2期)

34.9%

乳がん検診は2年に1度必ず受診して下さい

多くのがんは、2年に1度の検診で早期発見できます。ただし、中には急激に大きくなるものもあるため、しこり、乳房のひきつれ、乳頭から血性の液が出る、乳頭の湿疹やたれなどの症状がある場合は次の検診を待たずに病院へ行きましょう。

※2 ここでいう「ある（=検診）」とは、診断からの5年相対生存率です。相対生存率は、がん以外の原因でなくなる人の影響を除いた数値です。
出典：全がん協会の乳がん生存率調査（2006～2009年）



● はがきでお知らせする内容

- 乳がんに関する基礎知識、乳がん検診の意義、メリット、デメリット(または利益、不利益)
- 乳がん検診の方法(マンモグラフィ)、「異常あり」の場合の精密検査の案内
- 自治体からの検診費用助成
乳がん検診のマンモグラフィは 1 万円近くかかる高価な検査であるが、市区町村の検診では検査費用の助成があることの説明
- 検診の申込み方法
今年度の助成対象かどうか、検査費用、受診できる医療機関、日程、時間、女性医師による検診提供の有無など、乳がん検診の詳細についてはお住まいの市区町村へ問い合わせただくよう案内
- NHK「ガッテン！」9月5日の放送予定(一部記載のない自治体もあります)

● はがきの送付対象者

本プロジェクトに参加している自治体の 2018 年度の乳がん検診受診対象者(うち、年齢や過去受診状況などから各自自治体が選定)

● 連動テレビ番組

番組名： NHK 総合テレビ「ガッテン！」
「86 万人の自宅に届く！乳がんで死なないための切り札をあなたへ」

放送日： 2018 年 9 月 5 日(水)19:30～20:15
再放送 9 月 8 日(土)0:25～1:10(7 日(金)深夜)
NHK オンデマンド(インターネット) 放送後 14 日間
NHK ワールド プレミアム(国際) 9 月 5 日(水)19:30～20:15

再放送 9月6日(木)10:05~10:50

内容: 乳がんに関する基礎知識や乳がん検診の利点と限界を示し、がん検診受診率向上のために国立がん研究センター保健社会学部が開発した資材とその理論的根拠、これまでに得た知見を紹介し、乳がん検診の受診を呼びかける。

出演・監修: 国立がん研究センター 社会と健康研究センター保健社会学研究部 室長 溝田友里

【参考】

- 「全国放送テレビ番組と全国自治体による個別通知を組み合わせた乳がん検診受診勧奨の普及・実装研究 —NHK「ガッテン！」と連動した受診勧奨—」
https://www.ncc.go.jp/jp/cpub/division/public_health_policy/project/project_04/index.html
- 「希望の虹プロジェクト」サイト
<http://prev.ncc.go.jp/kenshin/index.html>
(「がん検診 ソーシャルマーケティング」でも検索いただけます)

【お問合せ先】

一般の方

乳がん検診の受診につきましては、お住まいの市区町村へお問合せください。

市町村別 がん検診に関するお問い合わせ先

https://www.gankenshin50.mhlw.go.jp/campaign_30/screening/contact.php

自治体の方

国立がん研究センター 社会と健康研究センター 保健社会学研究部

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

Eメール: gankenshin@ncc.go.jp

電話: 03-3547-5201(内線 3322、3323、2110、2112) 10時~16時(土日祝日を除く)

報道関係の方

国立がん研究センター 企画戦略局 広報企画室

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

TEL: 03-3542-2511(代表) FAX: 03-3542-2545 Eメール: ncc-admin@ncc.go.jp